

別 冊

参 考 資 料
(令和8年度6月補正予算)

熊 本 県

I-1 自動運転バスの実証運行の実施

【国の経済対策への対応】

新

予算額2億25百万円（25百万円）

くまもと臨空テクノパーク自動運転
社会実装推進事業[交通政策課]

- 自動運転は、交通事故の削減のほか、運転士不足解消や地域における移動手段の確保に資するものとして期待されており、持続可能な地域公共交通サービスの実現を見据えて取り組む必要がある
- 本県では、半導体先進県として半導体ユーザー企業の集積を図っていくための先導事例として、熊本空港・東海大学（阿蘇くまもと臨空キャンパス）・テクノロジーパークを拠点に、令和9年度の「レベル4」実装を前提とした自動運転バスの実証運行を実施する

<現状・課題>

- 運転士不足や地域における移動手段の確保が全国的な課題となっている
- 県内バス事業者5社の運転士数は定員1,050名に対し在籍数が約970名と、約80名不足している状況。5年後には約2割減少し、在籍数が約750名となる見込み
- 運転士不足対策に加え、既存の公共交通サービスや異業種との連携を図りつつ、多様なサービスに展開できる事業モデルの確立が求められている
- また、県内に立地する半導体工場では、自動運转向けの最先端半導体を製造する計画が発表される中、他地域に先んじて熊本で「レベル4」の自動運転を実装することで、関連企業の集積が期待できる
- 自家用車から公共交通への転換を図るため、自動運転技術を活用し、供給力不足を補いながら、持続可能な地域公共交通サービスを構築することが必要

<事業概要>

- 全体事業費：2億50百万円（県事業費2億25百万円）
- 事業内容：
 - (1) 車両費：車両購入、改造、燃料費等
 - (2) システム関連費：自動運転システム運用保守、データ通信費等
 - (3) 安全対策等関連費：リスクアセスメント、車両調律費等
 - (4) 労務費：運転手、保安員、遠隔監視員労務費等
- 負担割合：国8/10、県1/10、事業者1/10
- 事業主体：県及び九州産交バス株式会社を会員とするコンソーシアム
- 事業期間：令和8年度～令和9年度

<スケジュール>



I-2 既存路線のダウンサイジングに向けた取り組み

【国の経済対策への対応】

新

予算額25百万円（5百万円）

地域公共交通計画推進事業

〔交通政策課〕

- 運転士不足等に起因するバス路線の減便・廃止が発生し、交通空白地域の拡大が深刻化している現状を踏まえ、バスとタクシーの連携や車両の小型化など、従来の枠組みにとらわれない運行形態への転換が求められている
- 限られた輸送資源を最大効率で活用するため、利用者が少ない既存バス路線（一部区間）において、大型バスから実態需要に合った小型車両等へ置き換えるダウンサイジング実証運行を実施する

<現状・課題>

【現状】

- 運転士不足等に起因するバス路線の減便・廃止が発生している

【事例】

九州産交バスは運転手不足を理由に、令和8年2月7日から3月28日までの土曜日において、熊本都市圏を運行する一般路線を対象に特別減便ダイヤで運行

その結果、全体の17.2%にあたる142便が減便となった

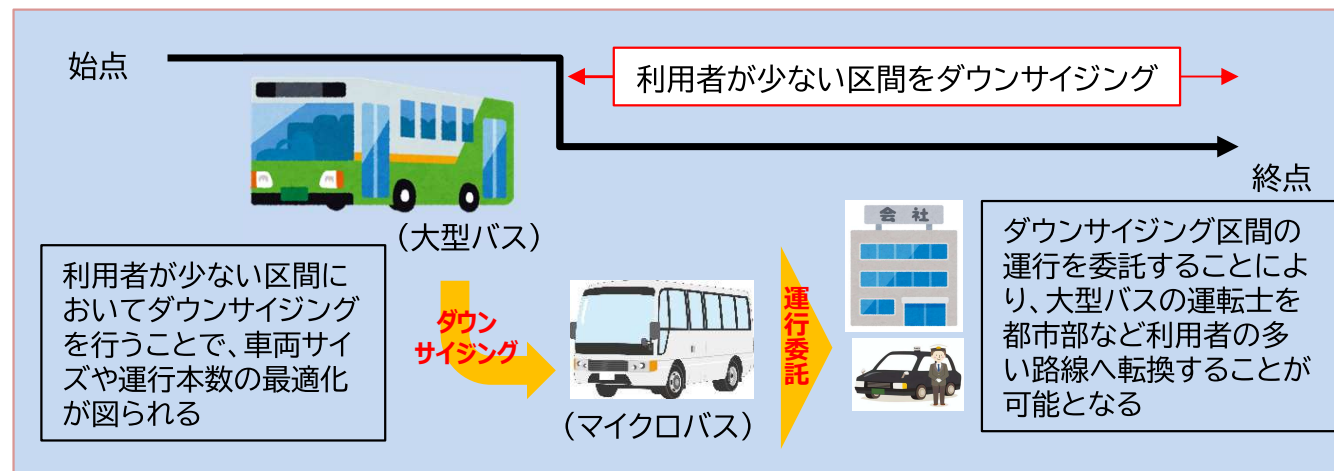
【課題】

- バス路線の減便や廃止により、通院、買い物、通学などの基本的な移動が制限される交通空白地域が拡大しており、住民の生活に直接的な影響を及ぼしている
- これらの課題に対応するため、利用者が少ないバス路線の小型化や運行本数の見直しを図るなど、限られた輸送資源（運転士・車両等）を最大効率で活用していくことが必要

<事業概要>

- 全体事業費：25百万円
- 事業内容：
 - (1) ダウンサイジングに必要な車両購入に対する助成
 - (2) 効果検証に係る委託料
- 負担割合：国2/3、県1/3
- 事業主体：県、交通事業者
- 事業期間：令和8年度

<イメージ図>



I-4 周産期医療体制の確保、医療分野での業務効率化・職場環境改善の推進

【国の経済対策への対応】

予算額6億90百万円（2億15百万円）

〔医療政策課〕

- 分娩取扱施設への人件費や運営費の支援、産科施設への施設・設備整備費を支援することで周産期医療体制の確保を図る
- また、医療機関にICT機器等の導入を支援することで、業務効率化・職場環境改善を推進する

<事業概要>

周産期医療体制の確保

- 全体事業費：2億13百万円（県事業費1億38百万円）
- 事業内容
 - (1) 分娩数が減少している分娩取扱施設に対し、一定規模の分娩の取扱いを継続するための人件費を支援
(1施設当たり1,160千円×分娩取扱件数減少率（上限15%）×補助率1/2)
 - (2) 分娩を取り扱う病院の数が1以下、かつ、診療所の数が2以下である二次医療圏（熊本・上益城、菊池以外）内の分娩取扱施設に対し、分娩の取扱いを継続するための運営費を支援
(1施設当たり上限11,246千円)
 - (3) 分娩を取り扱っていない又は分娩の取扱いの継続が難しい施設に対し、妊婦検診等を担う施設として診療を継続するための施設・設備整備費を支援
(①施設整備 1施設当たり上限7,239千円×補助率1/2、
②設備整備 1施設当たり上限4,630千円×補助率1/2)
- 負担割合：(1)、(3) 国1/2、医療機関1/2
(2) 国1/2、県1/2
- 事業主体：医療機関
- 事業期間：令和8年度



医療分野での業務効率化・職場環境改善の推進 新

- 全体事業費：6億91百万円（県事業費5億53百万円）
- 事業内容
業務効率化・職場環境改善に関する具体的かつ定量的な効率化目標値が記載された「業務効率化計画」を作成し、事業の進捗管理を行う「業務効率化推進委員会」を設置する医療機関に対して、業務効率化・職場環境改善に資するICT機器等の導入を支援
(1施設当たり上限100,000千円×補助率4/5)
例) 職員間の情報共有のためのスマートフォンや業務用インカム
患者の見守り支援機器
AI問診などの各種業務支援サービス
薬剤・検体搬送ロボット など
- 負担割合：国8/15、県4/15、医療機関3/15
(公費負担4/5、医療機関1/5 ※公費負担は国2/3、県1/3)
- 事業主体：医療機関
- 事業期間：令和8年度



- I 医療機関は都道府県に交付申請し、都道府県は国に所要額を交付申請
- II 国は都道府県を通じて医療機関に所要額を交付決定（補助率4/5）し、都道府県が医療機関に交付
- III 医療機関は都道府県に実績報告（概ね3年後）
- IV 都道府県が国に実績報告を行い、国は交付額を確定して都道府県に通知

I-5 農林水産事業者への支援

【国の経済対策への対応】

予算額3億41百万円（－）

〔農業技術課、農産園芸課〕

○ 国の経済対策を活用し、「スマート農業の推進」、「露地野菜の生産体制構築」への支援に取り組む

1 スマート農業機械等の導入支援【農業技術課】

<現状・課題>

農業者の高齢化・減少が進む中、本県農業の持続的な発展のため、スマート農業技術を最大限に活用した労働生産性の高い農業構造への転換が必要

<事業概要>

- 事業名：スマート農業・農業支援サービス事業導入
総合サポート緊急対策事業
- 全体事業費：2億70百万円（県事業費：1億35百万円）
- 事業内容：(1)農業支援サービスの提供に必要なスマート農業機械等の導入経費に対する助成
(2)スマート農業機械等の導入経費とその効果を高める栽培体系への転換に対する助成
- 負担割合：(1)(2)国1/2、事業主体1/2
- 事業主体：(1)農業支援サービス事業者
(2)農業者、農業者の組織する団体等
- 事業期間：令和7～8年度



コンバイン



農薬散布用ドローン



トラクター

2 露地野菜の生産体制構築【農産園芸課】

<現状・課題>

加工用ばれいしょの需要が高まる中、本県露地野菜のシェア拡大や持続的な産地としての確立を図るため、実需者ニーズに対応した種ばれいしょ産地の形成が必要

<事業概要>

- 事業名：くまもと露地野菜シェア拡大支援事業
- 全体事業費：4億33百万円（県事業費：2億6百万円）
- 事業内容：種ばれいしょの産地形成に必要な農業機械等の導入経費に対する助成
- 負担割合：国1/2、事業主体1/2
- 事業主体：農業者の組織する団体等
- 事業期間：令和7～8年度



種ばれいしょ選別機



種ばれいしょ保管冷蔵庫

I-6 熊本県高等学校等教育改革促進基金への積立て【国の経済対策への対応】
II-6 高校教育改革に向けた取組み【その他】

I-6：予算額62億41百万円（一）
II-6：予算額 9億28百万円（一）
 [高校教育課]



- 産業イノベーション人材の育成、地理的アクセスを踏まえた多様な学びの確保に向け、本県では国の補助金を活用し、熊本県高等学校等教育改革促進基金（以下、「基金」という。）を令和8年3月に設置
- 基金を活用し、令和8年度～令和10年度の3か年で、県内の4拠点校において高校教育改革を先導するパイロットケースを創出し、その取組み・成果の波及を目指す

熊本県高等学校等教育改革促進基金への積立て

少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化が一層深刻化することが見込まれる2040年に向け、国は、令和8年2月に高等学校改革の方向性を示す「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）」を策定

【高校改革の方向性】

- 視点1 AIに代替されない能力や個性の伸長
- 視点2 我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材育成
- 視点3 多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保



国のグランドデザインに沿って、以下の類型に応じた取組みを実施するため、国の補助金を活用し「熊本県高等学校等教育改革促進基金」を設置
(1) アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援
(2) 理数系人材育成支援
(3) 多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

積立総額：63億1百万円（国10/10）※R7年度2補：60百万円、R8年度6補：62億41百万円
 活用期間：令和8年度～令和10年度
 活用事業：○改革先導拠点の創出に係る経費
 ○高校教育改革加速に係る伴走経費

熊本県高等学校等教育改革促進基金を活用した取組み

高校名	類型	目指す姿	事業内容	R8.6月補正
菊池農業高校	(1) アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援	スマート農業を活用し、農業DXを推進できる「戦略的農業人材」の育成拠点化	(ソフト) デジタル教材導入、果樹ハウス設置 等 (ハード) LED植物工場、食品化学科棟の新築 等	2億3百万円
天草工業高校		地域で暮らし働き続けられる実践力を備える「地域共創型エンジニア」の育成拠点化	(ソフト) 最先端工業機器導入 等 (ハード) Amacusaラボ新築 等	2億99百万円
人吉高校	(2)理数系人材育成支援	データサイエンスを主とした「新たな理数系人材育成モデル」の開発拠点化	(ソフト) 3Dプリンタ等の工作備品導入 等 (ハード) 体育館への空調設置 等	2億21百万円
熊本高校	(3)多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保	地理的制約に左右されない、生徒の多様な進路実現に向けた遠隔授業の配信拠点化	(ソフト) 遠隔授業送受信機器導入 等 (ハード) 配信センター新築 等	1億92百万円
体制整備		教育委員会事務局運営業務委託等		14百万円
合計				9億28百万円

※学校ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがある

Ⅱ-1 タッチ決済を活用した共通定期券の導入の支援 【その他】

新

予算額11百万円（－）
交通系決済サービス利便向上促進事業
[交通政策課]

- 交通渋滞は本県の喫緊の課題となっており、公共交通の利便性向上を図ることで、自家用車から公共交通への転換を促進する必要がある
- 利用者の利便性向上に資するタッチ決済を活用した共通定期券を導入することで、共通定期券利用者の増加による自家用車から公共交通への転換を図り、交通渋滞の解消に繋げる

<現状・課題>

【現状・課題】

- 交通渋滞が慢性化しており、その解消が喫緊の課題となっており、公共交通への転換を図るため、利用者の利便性向上に向けた取組みを推進することが必要
- 現行の定期券制度は、区間が限定されるほか、更新手続きのために窓口へ出向く必要や定期券の発行がくまモンICカードに限定されるなど、改善の余地がある

現行制度



窓口対応のみ
くまモンICカードのみ
更新手続きが必要
区間が限定
市電では使えない

定期券制度の抜本的な見直しによる、
利用者の利便性向上が必要

<事業概要>

- 全体事業費：1億30百万円（県事業費：11百万円）
- 事業内容：タッチ決済を活用した共通定期券の導入に必要な新システム開発費用
- 負担割合：国2/3、県1/12 **重点支援交付金**、熊本市1/12、事業者1/6
- 事業主体：共同経営推進室
- 事業期間：令和8年度
- 運用開始：令和9年4月（予定）

<イメージ図>

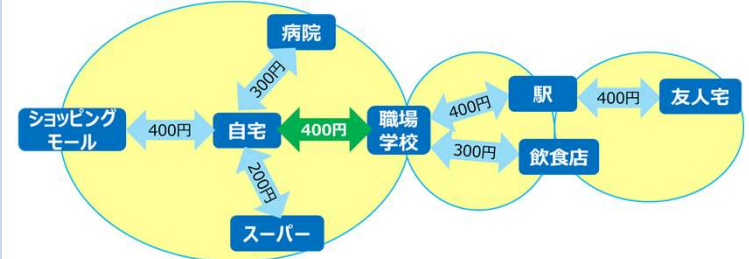
新制度



- ・クレジットカード
- ・デビット
- ・プリペイド 各カード
- オンライン受付もOK
- 登録すればスマホ利用もOK
- 更新手続き不要
- 登録した運賃額内で利用可能 ※
- 市電との共通化も検討可能

※【登録した運賃額内での利用（イメージ）】

従来の定期券制度：緑色矢印のみ利用可
今回導入する定期券制度：緑色矢印のみならず青色矢印も利用可



II-2 賃上げ等に取り組む中小企業者への資金繰り支援

【その他】

予算額6億円（－）
中小企業金融総合支援事業
[商工振興金融課]

- エネルギー・原材料価格の高騰、金利の上昇、構造的な人手不足、大幅な賃上げ等の影響により、中小企業者の経営環境は依然として厳しい状況となっている
- 賃上げや生産性向上等に取り組む中小企業者を資金面で強力に後押しし、資金調達の円滑化を図ることで経営力の強化と賃上げの好循環の実現を促進するとともに、経営者保証に依存しない融資慣行の確立を加速させ、中小企業者の事業の発展を図る

1 生産性向上等緊急支援資金（賃上げ等対応分）拡

<現状・課題>

- ・長引く物価高騰や構造的な人手不足等の状況が続く中、本県における最低賃金は全国最大の引き上げ幅となるなど、持続的、構造的賃上げに向けた原資の確保が急務となっている

<事業概要>

○**県事業費**：5億70百万円 一部、重点支援交付金

○**事業内容**

生産性向上等緊急支援資金の対象者に賃上げや生産性向上等に取り組む中小企業者を追加し、保証料の上乗せ補助を実施

○**事業主体**：県

○**事業期間**：令和8年度

<融資概要>

- 資金名**：生産性向上等緊急支援資金（賃上げ等対応分）
- 融資枠**：40億円（枠に達した時点で終了）
- 限度額**：企業80百万円、組合1億円
- 上限利率**：2.1%～2.25%以内
- 保証料率**：0.15%～0.72%
※通常は0.3%～1.43%

2 経営者保証非提供制度を活用する中小企業者への保証料補助新

<現状・課題>

- ・大幅な賃上げ、エネルギー・原材料価格の高騰等により、中小企業者を取り巻く経営環境が厳しくなる中で、経営者保証※が起業・創業や円滑な事業承継、早期の事業再生を妨げる要因となっている
- ※中小企業が金融機関から融資を受ける際、経営者個人が会社の連帯保証人となること

<事業概要>

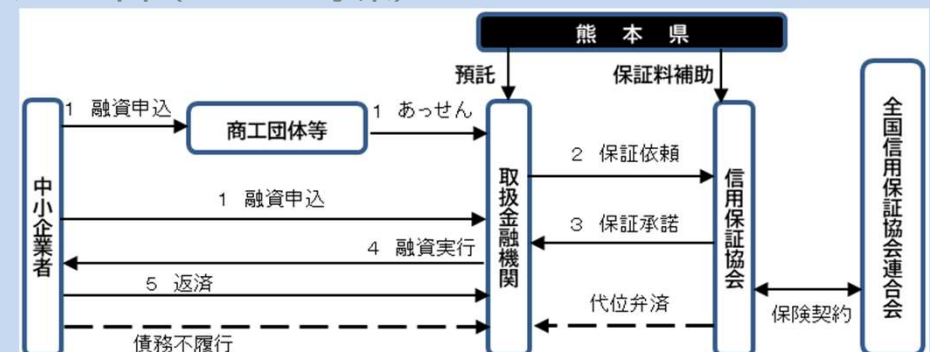
○**県事業費**：29百万円 重点支援交付金

○**事業内容**

中小企業が経営者保証が不要となる保証制度（経営者保証非提供制度）を活用する際に上乗せされる保証料率に対する補助

○**事業主体**：県 ○**事業期間**：令和8年度

<イメージ図（1～2の事業）>



Ⅱ-3 持続的な成長・発展を目指す小規模事業者に対する支援

【その他】

予算額20億円（-）
くまもと型小規模事業者持続化補助金
[商工振興金融課]

- 令和7年度11月補正予算に計上し、3月補正予算にて増額した「くまもと型小規模事業者持続化補助金（通称：くまもと型応援補助金）」について、予算額以上の申請がなされている
- 地域を支える小規模事業者を引き続き支援するため、追加予算を措置し、間断なく事業を実施する

くまもと型小規模事業者持続化補助金

＜事業概要＞

○全体事業費：22億22百万円（県事業費20億円）

○事業内容

持続的な成長・発展を目指し、賃上げ原資の確保をはじめ経営課題の解決に前向きに取り組む小規模事業者に対して、次に掲げる取組みに要する経費の一部を補助

- ①コスト削減（省エネ設備の導入等）
- ②生産性向上（デジタルツールの導入等）
- ③売上増加（展示会への出展等）
- ④付加価値訴求（SNSを活用した広告等）
- ⑤人材確保（求人広告の掲載等）

※従業員数の規模に応じて補助上限額を設定

○負担割合：県9/10 **重点支援交付金**、小規模事業者1/10

○事業主体：小規模事業者

○事業期間：令和7～8年度

○申請受付期間

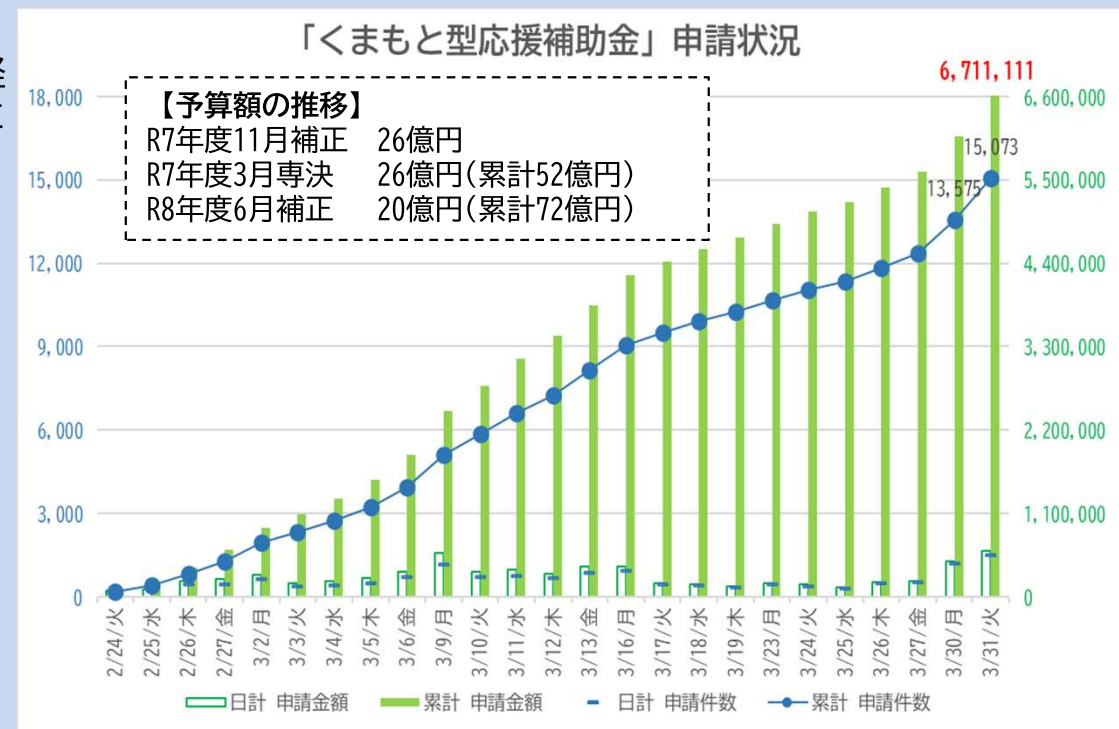
令和8年(2026年)2月24日～令和8年(2026年)3月31日(※)

(※)申請が予算額に達したため前倒しで受付終了

＜申請状況等＞

○申請件数 15,073件（3/31時点）※審査により変動中

○申請金額 67億11百万円（3/31時点）※審査により変動中



Ⅱ-4 くまもとサイエンスパーク実現に向けた取組み

【その他】

新

予算額30百万円（30百万円）
半導体サプライチェーン構築加速化事業
〔企業立地課〕

- サイエンスパークの中核拠点となる「イノベーション創発エリア」における産学官連携の促進や行政手続のサポート、エリアの維持管理・運営等を担う「パークマネジメント法人（一般社団法人）」を事業推進パートナー（三井不動産）と共同で設立し、サイエンスパークの理念・機能が継続的に維持される仕組みを構築する

<現状・課題>

- 県では、令和7年3月に「くまもとサイエンスパーク推進ビジョン」を策定
- 半導体関連企業の集積とともに、大学・研究機関の誘致を推進し、産学官連携によるイノベーションの創出、人材の育成・確保を図り、熊本の持続的な発展を目指す
- 県と連携し事業を推進するパートナーを公募し、三井不動産を選定。令和8年4月に県、三井不動産、合志市（「イノベーション創発エリア」立地自治体）の3者で協定締結
- 「イノベーション創発エリア」は、R&D（研究開発）ゾーンを擁した産学官連携の受け皿として機能するサイエンスパークの中核拠点であり、スピード感をもって整備（令和8年5月造成工事着工）
- 当該エリアへの企業誘致を強力に進めるとともに、入居する企業の窓口となり、サポートを行う「パークマネジメント法人」を速やかに設立し、運営体制を整備する必要

⇒ 三井不動産と共同で速やかに設立予定

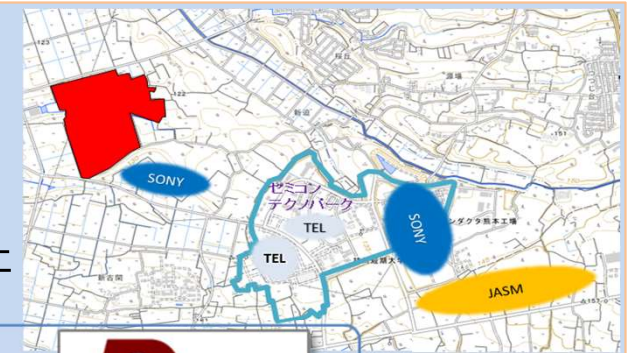
<事業概要>

- 全体事業費：30百万円
- 事業内容：パークマネジメント法人設立に係る基金の拠出
法人立ち上げに係る活動原資として、県と三井不動産で各30百万円を拠出
- 事業主体：県
- 事業期間：令和8年度～

<イメージ図>

イノベーション創発エリア 整備予定地（合志市竹迫）

- 敷地面積：約309,444㎡
- 開発スケジュール（予定）
令和8年5月：造成工事着工
令和9年以降：段階的に施設竣工
令和12年：全体竣工



基金拠出 ↓ 30百万円



基金拠出 ↓ 30百万円

パークマネジメント法人

イノベーションセンター

・産学官のオープンコミュニティ運営
・行政ワンストップサービスの提供
・イノベーション創発エリアの管理・運営 等

企業・アカデミアの個別の研究開発・技術開発支援・橋渡し 等

Ⅱ-5 防災・減災、国土強靱化の推進等 【その他】（補助投資事業の国庫内示増）

予算額58億83百万円（4億31百万円）
[道路整備課、道路保全課、都市計画課、港湾課、砂防課]

- 道路、港湾等の公共施設について、人流・物流を支える道路ネットワーク構築や都市計画道路の整備、防災・減災、国土強靱化に資するインフラ整備などの事業について、国庫内示増を踏まえ6月補正予算で計上

<事業概要>

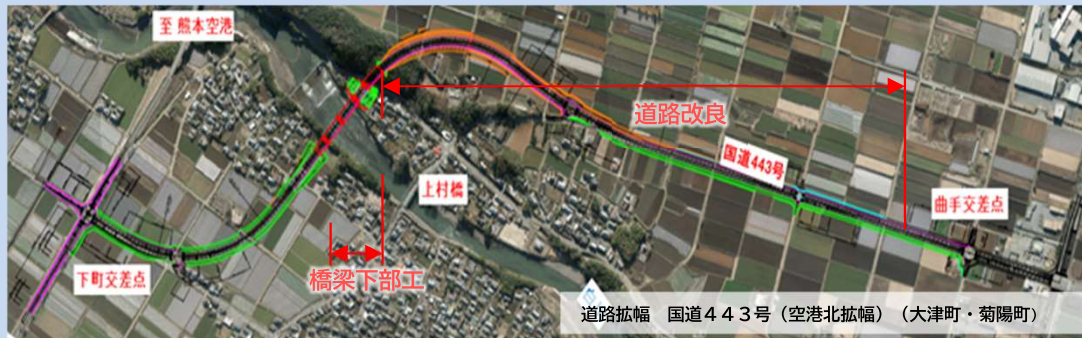
◆人流・物流を支える道路ネットワーク構築 19億95百万円

物流の効率化・人流の円滑化を図るため、渋滞対策など定時性・速達性の向上に向けた道路整備等を推進

<道路>

- ・ 地域道路改築事業等（国道443号（大津町・菊陽町）など） **19億95百万円**
道路ネットワーク構築に向けた道路整備等を実施

■ 国道443号（空港北）の道路拡幅事業のイメージ



◆都市計画道路の整備 8億56百万円

都市部における交通渋滞の緩和や主要拠点間のアクセス機能強化のため、市街地の都市計画道路の整備を推進

<街路>

- ・ 街路整備事業（南部幹線（八代市）） **8億56百万円**
道路改良及び軟弱地盤対策工事を実施

◆防災・減災、国土強靱化に資するインフラ整備等 30億32百万円

- ① 災害に強い県土づくりに資する道路ネットワークの強靱化を推進
- ② 事前の備えとなる防災・減災対策を推進
- ③ 自転車通行空間整備などの交通安全対策を推進

<道路>

- ・ 地域道路改築事業（国道445号（美里町）など） **9億27百万円**
国土強靱化に向けた道路整備を実施
- ・ 道路施設保全改築事業（天草管内など） **9億82百万円**
自転車通行空間整備事業などの交通安全対策を実施

<港湾>

- ・ 港湾・海岸整備事業（熊本港など） **10億54百万円**
泊地等浚渫や耐震対策を推進

<砂防関係施設>

- ・ 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業（玉名市など） **69百万円**
令和7年8月豪雨によるがけ崩れで被災した地域防災上重要な箇所を整備を推進（市町村への助成）

Ⅱ-7 くまもとオンライン教育支援センターの運営に向けた取組み 拡

【その他】

予算額12百万円（12百万円）
くまもとオンライン教育支援センター事業
[学校安全・安心推進課]

- 学校等へ登校しづらい児童生徒に対し、自宅から安心して学べる機会の提供や家庭以外の社会とのつながりをつくることによる社会的自立を目的として、令和7年度からくまもとオンライン教育支援センターを試行的に運営
- 今後の本格運用に向け、児童生徒への効果的な支援に繋がるよう、対象市町村の拡大等を行うとともに、これまでの運営で明らかとなった課題の改善を行う必要がある

<現状・課題>

- 3Dメタバースを活用して学びの機会を提供するくまもとオンライン教育支援センターの運営を試行的に開始

- 対象 : 5市町
- 実施期間 : 令和7年度10月～3月
- 利用者数 : 14名
- 事業成果 :
 - ・複数の利用者が実際の登校に繋がった
 - ・3Dメタバース支援を通じた、家庭・市町村教育委員会・学校間の連携促進が実現



- 一定の成果は得られたものの、本格運用に向け、児童生徒への効果的な支援に繋がるよう、これまでの運営の中で明らかとなった課題の改善等が必要

【本格運用に向けた課題】

- ・利用時間にバラつきがあるため、運営時間の検討が必要
- ・児童生徒同士のコミュニケーションを促進するため、利用者数の増加が必要
- ・個々の児童生徒に応じた学習支援の実践が必要

<事業概要>

- 全体事業費：12百万円
- 事業内容：3Dメタバースを活用し、欠席時の主な居場所が家庭となっている不登校児童生徒に対する支援を行う熊本オンライン教育支援センターの試行的な運営
- 事業主体：県 ○事業期間：令和7年度～

<イメージ図>

